

① 妊娠希望でメルカゾール服用治療を開始した方に



ポイント：

甲状腺ホルモンが高いと母体の心不全、妊娠中毒症、胎児の流産、発育遅延のリスクがあります。したがって、メルカゾールで甲状腺ホルモンを正常にして落ち着いた状態になってから妊娠した方が安全です。

担当医が妊娠可能と判断するまでは、避妊しておいてください。万が一妊娠された場合は、妊娠が判明した時点でメルカゾールを中止してすぐに受診してください。

- ・ まず、計画妊娠をお勧めします。
- ・ 甲状腺機能亢進症による母体の心不全、妊娠中毒症、胎児の流産、発育遅延のリスクがありますので、甲状腺機能のコントロールが重要です。すなわち、メルカゾールで甲状腺ホルモンを正常にして落ち着いた状態になってから妊娠した方が安全です。
- ・ 妊娠初期にメルカゾールを服用していると、裏面に記載してあるメルカゾールによる胎児奇形がでることがあります。妊娠がわかったら、メルカゾールを中止してヨウ化カリウム丸 1日1丸に変更し、すぐに受診してください。ヨウ化カリウム丸を服用中の方は、メルカゾールのみを中止してすぐに受診してください。
- ・ メルカゾールの減量が難しく服用量が多いときは、別の治療法（手術・放射線治療）に変更するか担当医と相談してください。
- ・ メルカゾールではなく、チウラジールで開始する方法もありますが、効果が弱い・重症肝炎や腎障害などの副作用がある、という欠点がありますので担当医と相談してください。

実際の対応について

- ・ 担当医が妊娠可能と判断するまでは、避妊をしておいてください。万が一妊娠された場合は、妊娠が判明した時点でメルカゾールを中止し、お渡ししているヨウ化カリウム丸 1日1丸を服用してすぐに受診してください。ヨウ化カリウム丸を服用中の方は、メルカゾールのみを中止してすぐに受診してください。

- ・メルカゾール服用開始後 3 ヶ月以上経って副作用がないことを確認し、メルカゾール 1 日 1 錠もしくは 1 日おきに 1 錠で甲状腺ホルモンが正常に安定してから妊娠を計画しましょう。

メルカゾールと胎児奇形について

- ・メルカゾールを服用している妊婦と健常妊婦では、奇形の頻度に差はありません。
- ・しかし、妊娠初期にメルカゾールを服用していると頭皮欠損、臍腸管瘻または尿膜管残存、臍帯ヘルニア(へそに関連した異常)、後鼻孔閉鎖(日本では少ない)、食道閉鎖(日本では少ない)というメルカゾールに特有な奇形がでることがあります。
- ・メルカゾールに関連した奇形のほとんどはへそに関連した奇形や頭皮が欠損するもので、ほとんどは生後の手術でよくなるものです。
- ・しかしながら、これらの奇形を回避するために、現時点では妊娠 5 週までに極力メルカゾールを避けた方がよいと考えています。
- ・妊娠 16 週以降はメルカゾールを服用しても問題ありません。